

まちづくり交付金 事後評価シート
中丸子・上丸子地区

平成22年3月

長野県上田市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	上田市		地区名	中丸子・上丸子地区			面積	8.5ha	
交付期間	平成17年度～21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	226	国費率	41%			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	市道中丸子1号線道路改良工事 依田川ウォーキングロード整備事業			市道中丸子27号線道路改良工事 市道中丸子27号線彫刻設置事業			市道中の道川原線道路改良工事 ベルパーク水辺公園整備事業		市道中丸子10号線歩道改良工事 給食センター建設事業
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業	ものづくり工房事業			建物の強度不足が判明			影響なし		
	新たに追加した事業		基幹事業									
			提案事業									
交付期間の変更		当初	平成17年度～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更	平成 年度～ 年度									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	商業地に集う集客者数	万人	80	基準年度 H15	100	目標年度 H21	モニタリング	評価値 120	あり なし	道路環境、公園の整備により、集客者数の増加につながった。	H22年 8月頃
	指標2	公園の利用者数	人	12,000	H15	15,000	H21	-	16,000	あり なし	周辺道路環境の整備により、集客数が増え、隣接する公園の利用者の増加につながった。	H22年 8月頃
	指標3	遊歩道に対する住民満足度	%	60	H15	80	H21	-	88	あり なし	遊歩道の整備により散歩やジョギング、通勤通学にも利用され、周遊性もあり満足度アップが図れた。	H22年 8月頃
	指標4	旧カネボウ跡地有効活用の面積	m ²	50,893	H15	80,000	H21	-	91,279	あり なし	計画的に旧カネボウ跡地を買戻すことにより、事業の有効活用が図れた。	
	指標5									あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	なし			/							
	その他の数値指標2				/							
	その他の数値指標3				/							
4) 定性的な効果発現状況	まるこベルパークは緊急災害時等のヘリポートとしての機能を有している。周辺の道路改良工事により当該地域への道路環境が整備された。給食センターは災害時の食料品等の備蓄・調達基地として災害時の炊き出し施設となる。当該地域周辺は防災拠点として重要な役割も担っている。											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

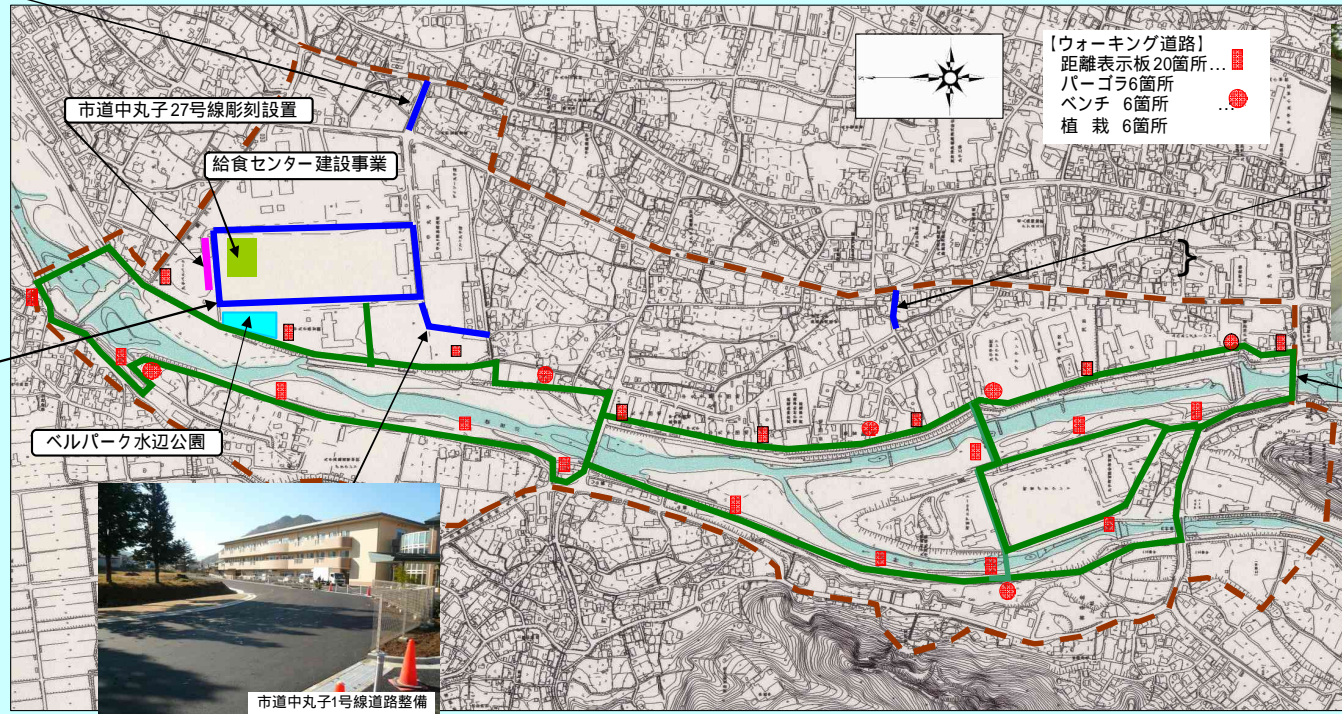
様式2 - 2 地区の概要

中丸子地区(長野県上田市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値	
緑の風がこだまする水辺の街丸子ネットワーク ~水と緑を活用した賑わいと憩いの創出~ ・歴史がある工場跡地の有効利用 ・商業拠点との一体的な発展 ・人と物が回遊する依田川周辺道路(遊歩道)の整備 ・災害に強い都市基盤の整備	商業地に集う集客者数	単位: 万人	80 H 15	100 H 21	120	H 21
	公園の利用者数	単位: 人	12,000 H 15	15,000 H 21	16,000	H 21
	遊歩道に対する住民満足度	単位: %	60 H 15	80 H 21	88	H 21
	旧カネボウ跡地有効活用の面積	単位: m ²	50,893 H 15	80,000 H 21	91,279	H 21



市道中丸子10号線



市道中丸子27号線道路整備



市道中丸子1号線道路整備



市道中の道川原線



依田川ウォーキングロード

まちの課題の変化

- ・旧カネボウ跡地の商業開発及び周辺の道路整備により商業地に集う集客者数が急激に増加した。
- ・ウォーキングロードの整備により一帯が周遊性があり、散歩やジョギング、通勤通学にも利用され満足度が増加した。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・ウォーキングロードの整備により一帯が周遊性があるが、幅広い年齢層の利用者からの要望事項(四阿、ベンチ等の設置)に対する検討が必要である。
- ・水と緑を活用した賑わいと憩いの創出目標に対し、現在ではアレチウリが増えている。アレチウリ駆除を地元企業、自治会、行政で行っているが先の長い活動が必要である。
- ・歴史と文化の息づくカネボウ工場跡地を整備することで賑わいと憩いの場として創出され、既存商店街の活性化とも相乗効果を図り、交流人口のさらなる増加につなげる。身近な健康管理としてウォーキングの愛好者が当地域でも増えており、安全に楽しく歩くことができ、各施設間の連絡や連携を図るばかりか地域住民の健康福祉のより一層の増進にもつなげる。